

行政区長懇談会(志和地区) 要旨

- ◆日時 令和8年6月18日(木) 17時30分～18時20分
- ◆場所 志和公民館
- ◆参加者 行政区長 12名
紫波町 町長、教育長、生活部長、産業部長、建設部長、企画総務部長、教育部長、総務課長、地域づくり課長
(役場会場) 長寿介護課長、健康福祉課長、農政課長、商工観光課長、地球温暖化対策課長、土木課施設管理係長、都市計画課長、財政課長、税務課長、消防防災課長、学校教育課長、生涯学習課長、こども課長、学校給食センター所長、農業委員会事務局長

1 開会

2 町長挨拶

普段からしわネットの配布や、その他配布物、そして地域の困りごとなど、様々ご対応いただきまして、心から感謝を申し上げます。今日は三役、部長以下職員が地域の皆さんの出来事困りごとをお聞きしに参りました。

忌憚のないご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

3 町からの情報提供

- ・ツキノワグマ出没への注意喚起について(環境課)
- ・空き家の聞き取り調査について(都市計画課)
- ・統計調査員の推薦について(総務課)

4 懇談

<行政区長>

クマの出没について、ラインで通知が来ることでいち早く情報を知ることができている。LINE を使っていない方もいると思うが、その方々に対しての情報展開というのはどう考えればいいのか。

(産業部長)

クマの目撃があった地区については、役場の広報車で現地での広報を実施している。ただ、通報から30分ほどたってから現場に到着することもあるため、そこに個体がないということが多い。さらに目撃情報が来ればその場でクマを追いかけて、地域の方々にも行先を教えられると思っている。ラインもこまめに情報が来た都度お知らせしているつもりだが、それ以上の広がりというのは広報車以外の部分ではなかなか伝えられず、我々としても危惧している。

<行政区長>

区長の担い手について、区長になればほかの役がついてきたり、区長協議会や環境区長の衛生連がありそこでまた役があったり、役が付けば平日の日中に会議が合ったり…。仕事をしていれば、仕事を休んで時間を割いて出席して、ということにもなり、そうするとますます担い手が少なくなってくるのではないかと思っている。今回県大と連携して見直しの検討をすると聞いているが、現時点での今後の方向性など教えてほしい。

(総務課長)

ご発言の内容、私どもも非常に共感するところ。一方で地域の中で限られた人員で地域組織を維持するため独自のバランスで成り立っているものでもある。今回県大との協働研究ということで、区長の皆様方にヒアリングを行うこととしている。その中で今抱えている現状、課題等をぜひ教えていただきたい。

<行政区長>

イノシシの現状と対策はどうなっているか。

(産業部長)

紫波町では昨年 50 頭ほど捕獲している。イノシシはもう紫波町中、西にも東にもいる。今年度から町では鳥獣被害防止対策専門員を雇い、鹿、イノシシ、クマに対して積極的に捕獲できるように仕組みを整えていきたい。

<行政区長>

イノシシは稲も食い荒らすので、早めに対策をとっていかないと一気に大変になる。一回お米がやられてからでは遅いので、イノシシ対策について検討をお願いしたい。

<行政区長>

防犯灯の関係で、蛍光管になっているところに対して LED 化する際に助成するという話があった。今電気屋さんに見積もりを依頼しているが、地区では予算をとっておらず来年度に向けて予算化をしなければと思い役場を尋ねたところ、来年度助成事業を行うかどうかはまだ決定していないと言われて、何かいい方法がないか。

クマの捕獲目標、どのような形で被害を未然に防ぐ方法を考えているか。

(土木課施設管理係長)

蛍光灯の生産が中止になるということで、LED 化する際に、役場で購入した LED 灯をお渡しして設置していただく、設置の際には補助金を活用してくださいということでご案内を出していた。この LED 灯の購入にあたっては県の補助金を活用しているが、それが最大 3 年というところで、来年この事業がどうなるかが見通せない状況であった。町の LED 化事業については、地区の負担が減るように引き続き相談しながら検討を進めていきたいと考えている。

(産業部長)

昨年まではクマは有害捕獲、農作物などに被害があった場合にのみ捕獲できるという動物であったが、今年県の方でその仕組みを変えているが、まだ市町村が事前にわなを設置しても良いということにはなっていないので、引き続き協議をしていく。

イノシシはわなを敏感に感じてよけていく動物であり、なかなか罠にかからない。罠に慣れさせたり、くくりわなを毎回イノシシがとおり場所に設置したりといった手法で、捕獲できるように頑張っている。

<行政区長>

花巻市では罠を設置したところにカメラを付けて管理している。市町村によってそのへんの差があるというのはどういうことか。町も積極的に先に動いてもいいのではないか。

(産業部長)

紫波町でも、罠を設置した際にはカメラを仕掛けて監視している。花巻市がテレビで報道されたということもあり花巻市が最新のように見えるかもしれないが、紫波町も同じような対応をとっている。また、ドローンを活用して上から追いかけるといったことも行っている。ただ、クマが通るであろう場所に事前にわなを仕掛けるということができない。それは岩手県内どこでも同じ条件なので、県に対して働きかけていきたい。

<行政区長>

統計調査員の推薦依頼について、調査員の調査の内容などどんなものか知りたいし、なるべく早めに推薦依頼が欲しい。新たな人にやってくれと頼むのもなかなか時間がかかるので、配慮いただきたい。

(総務課長)

おっしゃるとおりだと思う。なるべく早い段階で推薦依頼の通知、資料の提供ができるよう検討していきたい。

<行政区長>

感覚的にだが、経済の活性化などに伴って交通量が増えているように感じる。伴って、安全面の観点で道路整備、路面に穴が開いているのも見受けられ、整備にもまたコストがかかってしまうのではないかと考えている。また自転車レーンの整備なども進んでおり、安全確保や道路整備の確保、自転車レーンの整備といったところについて、何か計画があれば教えてほしい。

(土木課施設管理係長)

路面の穴など道路の維持修繕について、皆様の情報をいただいたり、道路パトロールをしたりしてなるべく危険がないようにということで維持管理に努めている。道路の舗装整備状況については、年間で一路線できるかできないかという状況。また、自転車の方は県の自転車ネットワークの計画などはあるが、紫波町としてはそういった計画は

まだできていない。今後も優先順位等を考えて維持管理等行ってまいりたいので、情報や相談などあれば土木課にご連絡いただきたい。

(建設部長)

道路や橋梁の補修について、大規模な補修や道路の新設といった大規模な事業は、国の交付金がないとなかなか手が付けられないが、近年国の交付金は修繕などに重点が置かれている。まずは橋梁など命にかかわる重要なインフラの補修を優先的に進めている。

5 町長総括

・クマについて、LINE を使っていない人にどう伝えるか、町としても対処していきたいと思うので、地域の中でもクマが出た際などには周りの方に声掛けをお願いできればと思う。

・担い手の話があった。役職の棚卸をしている地区もある。地域の中で昔からある団体については、町から一方的にこうしましょうとなかなか言えないため、地域の中で話し合いの場を持っていただきたい。

・イノシシについて、町内においても猟友会やサポート隊の皆さんにお世話になりながら捕獲をしているところ。皆さんの通報などいただきながら対処している。

・道路インフラについて、今年の冬は寒さと雪が厳しく、だいぶ道路に穴があいた。建設会社さんの地域貢献の一環で、2 日間にわたってボランティアで補修作業をしてもらった。そのほか、町の直営でも補修の作業を行っている。ただ、路面が劣化している路線もある。事故が起こってからでは遅いので、お気づきの点があればぜひ役場に教えていただきたい。

・有害鳥獣について、環境が変わってきたと実感している。先日県内の全市町村の首長が集まって意見交換会もした。紫波町だけがよくなれば、花巻だけが対策をすれば、ということではない。有害鳥獣は市町村域など関係なく移動するため、広域で当たる。ぜひ皆さんからもご意見をいただきながら対処してまいりたい。